



Issue [今月の旬話]

家庭にも、オフィスにも いざというときのために 用意しておきたい保存食

東日本大震災から5か月。大きな災害の教訓から、見直されているのが保存食の重要性だ。災害時に備え、最低限用意しておきたい飲料水やごはん、パンなど注目の商品を見てみよう。

構成・文 ● 佐々木ケイ

今年3月11日の東日本大震災発生時には、北海道から愛知県まで17道県、約140万戸が断水したといわれる。災害時に備え、まず用意しておきたいのは飲料水だ。ピュアウォーターサービス㈱の「ライフスプリングいのちの水」は、逆浸透膜方式の浄水システムで比良山系の地下水（ミネラルウォーター）を高度浄水したもの。ミネラル分や化学物質を取り除いた超軟水は、赤ちゃんのミルク用の水や美容用としても人気が高かったが、賞味期限が5年、10年と長いことから、震災以降は災害備蓄水として購入する人が増えているという。

また、保存食といっぴ思いつくものに乾パンがあるが、缶に入ったふわふわのパンの製造・販売を手がけるのは㈱パン・アキモト。賞味期限は商品により異なるが13か月から最長37か月と長く、デニッシュ生地のもや、フルーツやジャムを使ったものなどバリエーションも豊富だ。注目は同社の「救缶鳥」プロジェクト。賞味期限が3年のパンの缶詰「救缶鳥」を購入し、2年間は防災用に保存し、残り1年となった時点で飢餓に苦しむ国々へ義援物資として送るという試み。災害に備えながら国際貢献ができると、消費者たちからも支持されている。

最長5年間保存可能な尾西食品㈱の「ごはんシリーズ」も、震災発生以降、注

文が殺到し、現在は2か月待ちだという。アルファ米を使用した商品だが、お湯や水を注ぐだけで簡単に作ることができ、白米のほか、五目ごはん、赤飯、かゆ、チキンライスなどラインナップが充実しているのも嬉しい。同社では、「安心缶シリーズ」として、けんちん汁、豚汁、カレーライスの備品付き30食セットも販売している。カップや皿、割り箸、スプーンなど必要なものがすべてセットになっていて、加熱用調理器具さえあればどこでも食べられて便利。こちらはオフィスに備蓄しておくのもおすすめだ。

大災害は起こらないことを祈りたいが、最低限の備えをしておくことも重要。防災グッズの中身を確認して、必要なものを揃えておきたい。



尾西食品 豚汁セット30食

豚肉も野菜もたっぷり使った、具だくさんの豚汁セット。ココナッツミルクを使ったカレーを缶詰にしたカレーライスセット30食分には、アルファ米もセットに。食器類のほか、缶切り、玉じゃくしもついている。豚汁セット（3kg 15食分×2缶）8505円。 ☎尾西食品 ☎ 03-3452-4020



ピュアウォーターサービス ライフスプリングいのちの水

ペットボトルは5年間、アルミ缶は10年間保存可能。口当たりがまろやかで、料理やお茶をいれる際に使うのもおすすめ。ペットボトル（500ml×20本）3780円。アルミ缶（500ml×24本 7056）円。 ☎ピュアウォーターサービス ☎ 0120-300-335



パン・アキモト 救缶鳥

同社の通常の缶パンの2倍の大きさと、缶の切り口で手を切らないダブルセーフティプルトップを採用。義援先の国では缶が器として使用される。オレンジ、レーズン、イチゴの3フレーバー（各5缶計15個）12000円（送料、回収料込）。 ☎パン・アキモト ☎ 0287-65-3558



尾西食品 ごはんシリーズ

アルファ米は、炊きたてのごはんのおいしさを逃さないよう急速乾燥したもの。容器の注水線までお湯を注ぎ、15分でごはんができる。1袋あたり100gと軽量。コンパクトなパッケージでスプーンもついている。白飯 294円〜。 ☎尾西食品 ☎ 03-3452-4020